

大田区政に関する世論調査

平成20年7月実施

大 田 区

今後の区政運営のために

大田区は、区のめざすべき将来像を提示し、今後のまちづくりの方向性を明らかにするために、本年度、区政運営の基本となる新たな基本構想を策定いたしました。

この基本構想は、平和で、基本的人権が尊重される社会を前提とし、大田区の主役である「区民」、生活の舞台となる「都市（まち）」、そして大田区を支えるさまざまな「地域や区民相互の関係」に視点を置いた3つの基本理念を掲げており、さらに、20年後の大田区の将来像として、「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市おおた」を掲げました。

基本構想に基づくさまざまな施策を着実に実現するためには、区民の皆様のご意見・ご要望を幅広く的確に把握することが、重要であると考えております。

そこで、区では、「区長への手紙」や「パブリックコメント（区民意見公募制度）」および「区民と区長との懇談会」などをおし、多くの区民の皆様のご意見をお聴きしております。この「区政に関する世論調査」もこうした広聴活動の一環として実施しており、今回で31回目となりました。

今回の調査では、「定住意向」「生活環境の満足度」「区の施策への要望」などの項目のほか、「地域活動」や「国際交流」、「広報」などについてお聴きしました。

この調査結果は、今後の区政運営のための貴重な資料として活用してまいります。

最後に、調査にご協力いただきました区民の皆様には厚くお礼申し上げます。

平成20年11月

大田区長 松原忠義

目次

調査の概要	1
調査結果の概要	
1. 回答者の属性	11
2. 質問と回答	16
調査結果の分析	
1. 定住性	
(1) 居住開始時期	31
(2) 定住意向	34
(3) 住みたい理由	38
2. 生涯を安心・元気に暮らせるまちづくり	
(1) 生活環境の満足度	40
(2) 子育て支援のために優先して取り組むべき施策	45
(3) 中学校までの学校教育に期待すること	49
(4) 運動・スポーツの実施頻度	52
(5) 今後したいと思う運動・スポーツ	55
(6) 食品の安全性について不安を感じる事	57
(7) 高齢者が地域で安心して暮らしていくために必要だと思う地域活動	59
(8) 高齢者が地域で安心して暮らしていくために協力できる地域活動	64
(9) 高齢者支援のために優先して取り組むべき施策	68
3. 安全で魅力あふれる国際交流のまちづくり	
(1) 現住居の建築時期	72
(2) 大地震発生時の現住居倒壊に対する不安感	73
(3) 震災対策の実施状況	76
(4) 耐震診断や耐震改修工事を行っていない理由	79
(5) 耐震診断や耐震改修工事の費用の一部助成や無利子融資制度の認知度	83
(6) 外国人と共に暮らすために必要な取り組み	85

4 . 地域力と行政が連携した活力あるまちづくり	
（ 1 ）自治会・町会などの会合や行事への参加状況	87
（ 2 ）地域活動に参加していない理由	91
（ 3 ）今後参加したい地域活動	95
（ 4 ）地域活動を活発にするために必要な支援	100
（ 5 ）家庭ごみの有料化	105
（ 6 ）有料化を実施すべきだと思ふ理由	109
（ 7 ）有料化は実施すべきではないと思ふ理由	111
（ 8 ）ごみ減量のため工夫していること	113
（ 9 ）自宅でのインターネット利用状況	117
（ 10 ）パソコンの利用目的	119
（ 11 ）区役所のIT化として取り組むべきこと	121
（ 12 ）区の情報を得る手段	123
（ 13 ）今後利用したい区の広報媒体	125
（ 14 ）区報の入手先	127
（ 15 ）区報の閲読状況	133
5 . 新しい区政の進め方	
（ 1 ）区役所の窓口対応に期待するもの	136
（ 2 ）施策要望	138
（ 3 ）新しい区政の進め方に対する意識	142
（ 4 ）区の制度・施策・施設の周知度	148
《参考》調査結果の概観	151